

平成24年度前期

## 長尾小 学校評価の自己評価の結果を報告します

1学期末の学校評価アンケートではご協力いただきありがとうございました。

学校では、保護者の皆様にご協力いただいたアンケートに加えて「児童」「教員」のアンケートや日常の取組、様々なデータなどを元に、全職員で総合的に考察し、今年度後半の重点的な取組について話し合いました。その結果がまとまりましたので、報告させていただきます。

**○本校では、保護者の協力のもと、落ち着いた学校生活を送ることができています。2学期は、大きな行事を生かし、さらに次の点に力を入れて取り組みます。**

**○学習での達成感を感じられる指導の工夫や、クラスの中での自己有用感としての「楽しさ」を味わえるよう指導します。**

「楽しい」のとらえ方を吟味し、成功体験を意図的に積みせることにより、頑張る心地よさを味わわせていきたいと考えます。学級通信等でその姿をお知らせしますので、是非話題にして、賞賛して下さい。また、つまずくこともあると思います。それを糧にして一回り大きく成長していけるよう支援をしていきます。



**○「友だちの意見を聞いて学びを深める」ことができるような授業展開をしていきます。**

友だちの意見を聞くだけで終わってしまい、聞いたことをまとめたり、整理したりする所まで至らせられていない。ここを打開するために、聞いたり考えたりするときの目当てを明確にさせ、考えをまとめる時間の確保を意図的に設定していきます。これにより、「伝え合ったり、学びあったり」することが定着し、学びを深めていけるよう、指導していきます。



**○運動本来の楽しさを味わっていける“きっかけ”となるようよう、体育の時間での指導を工夫します。**

2学期は、運動会・陸上記録会・持久走大会など大きな行事が目白押しです。「運動の特性」を重視して、適切な目標をもたせた指導の工夫を行っていきます。



**○児童の安全対策をとると共に、危険回避能力を育てる指導を継続します。**

「安全」を脅かす、事件・事故が絶えません。保護者の皆様の協力を得ながら、下校時刻を厳守し、以下に特に配慮して指導を進めます。

- ①不審者 → 集団下校の増加 パトロールの強化
- ②交通事故 → 通学路の見直し
- ③雷・台風 → 下校方法の見直し

新聞等での、子どもに関わる事件・事故の多さに心を痛める毎日です。安全対策の重点は上記を中心に行いますが、「いじめ」に関しては、どの学校でも起こる可能性があるという視点で、毎月の子どもからの調査や、教員の観察、保護者との連携などを駆使して、未然防止や解決に向けていきたいと考えています。今年に入ってからも指導した件がいくつかありました。様々な経験を通して“相手の立場になって考えて行動できる”ように育ってほしいと願い、指導しています。356人の児童が共に生活する中では、様々なことが起こります。今後とも、地域・家庭・学校の三者が連携して、子どもの健全育成ができるよう努力いたしますので、皆様のご協力をよろしく願いいたします。

長尾小学校長 上原 篤彦

《学校評価アンケート集計表》

24年度前期

評価対象	アンケート項目(児童用)		児童				保護者				職員			
			A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
(1)豊かな心	1	友達のよいところを見つけることができますか。	40	41	16	3	55	41	4	0	15	75	10	0
	2	学校は楽しいですか。	61	27	8	4	78	20	2	0	30	70	0	0
	3	あいさつ、返事、正しい言葉遣いなどしていますか。	42	47	8	2	14	68	17	1	0	75	25	0
	4	本を読むことが好きですか。	56	23	15	6	14	68	17	1	25	55	20	0
(2)確かな学力	5	友達の意見を聞いて自分の考えがもてますか。	28	44	22	6	11	50	35	5	0	80	20	0
	6	宿題を確実に提出していますか。	61	29	7	3	67	29	2	2	20	80	0	0
(3)進路・ 生き方	7	係・当番活動(掃除、給食、委員会、係)などで自分の役割を果たしていると思えますか。	66	29	3	2	27	33	30	10	30	65	5	0
(4)健康体力	8	早寝、早起き、朝ごはんを実行していますか。	52	30	14	4	67	30	3	0	10	65	20	5
	9	進んで運動に取り組んでいますか。	55	30	12	3	46	32	19	2	30	65	5	0
(5)安全確保・ 施設設備	10	安全に注意して通学や学校生活をしていますか。	63	32	4	1	33	53	13	1	55	45	0	0
	11	校舎や校庭の中に危険なところはありますか。	56	27	11	6	16	60	22	1	69	23	8	0
(6)保護者との 連携	12	心配があったときは、学校や担任の先生に連絡や相談ができますか。(保護者用)	/				50	39	11	1	30	60	10	0

クラスの中での自己有用感とは？

一人一人の児童について、集団の中での成長を見つめ、児童の実態を的確に把握して指導する。個々の児童の思いや願いを理解し、一人一人が当該学級集団に所属し、集団の一員として認められているという満足感や充実感、連帯感などをもち、互いに協力する中で自己有用感がもてるように配慮する。

(学習指導要領解説より)

子どもたちのコミュニケーション能力、人間関係をつくる能力が未熟なことが良く話題になっています。このような子どもたちは、集団の中での様々なストレスや不安感に立ち向かうことが難しく、困難を抱えることになると考えられています。

本校では、重点教育課題の一つとして「達成感や自己有用感をもって生き生きと生活する児童の育成」を目指しています。学習や生活の様々な場面において、友だちと関わり合いをもちながら進める活動を意図的に設定しています。しかし、うまく友だちと関わっていくことは難しいことです。

うまくいかなかったことを通して学んだり成長したりできるような指導と、「友だちと勉強や活動することが楽しい」という満足感や充実感を実感できる経験を積みせることにより、「みんなから受け入れられ、役に立っている」という**自己有用感**を育てて行きたいと考えます。

